

城南衛生管理組合新庁舎建設基本計画【概要版】

令和2年3月

新庁舎建設に向けた基本理念・基本方針を明らかにし、具体的な整備方針の検討を経て、今後の設計の指針となる「新庁舎建設基本計画」を策定しましたので、その概要をお知らせします。

1 現庁舎(本庁管理棟)の課題

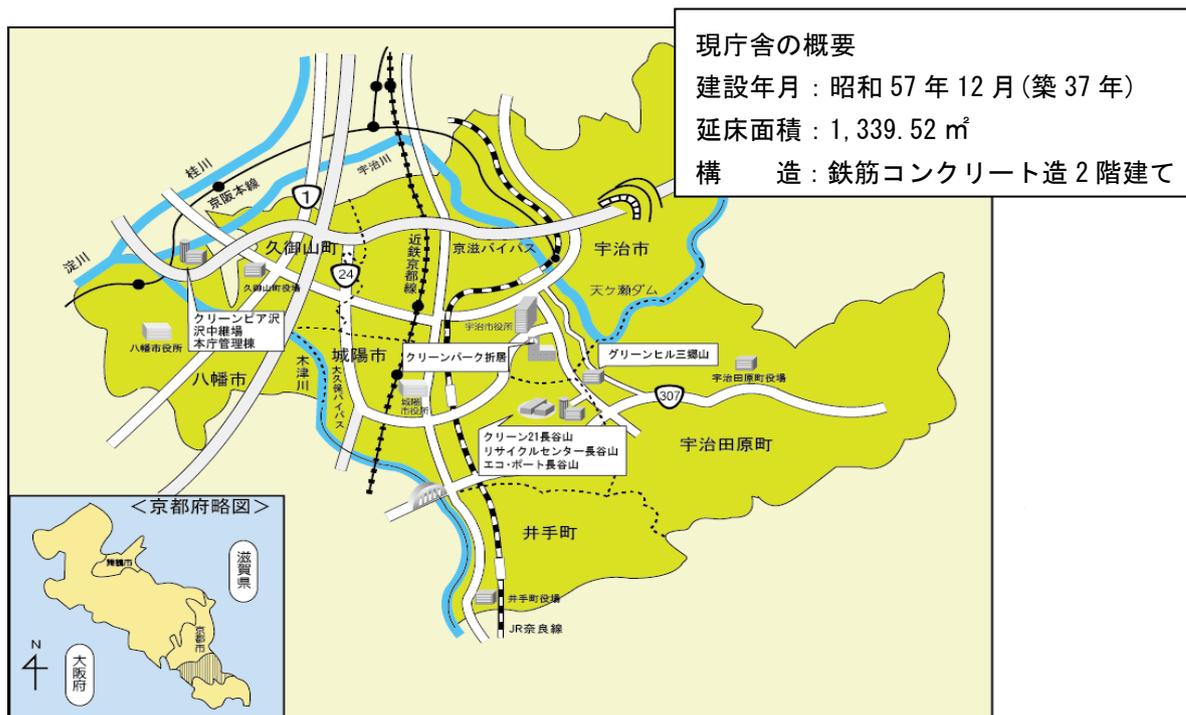
<管理機能面>

- ① 各処理施設と現庁舎が遠隔地に分散立地しているため、業務執行が非効率となっています。
- ② 事業構成の比重が増しているごみ処理・リサイクル事業を中心とした危機管理体制の充実が求められています。
- ③ 経過年数による老朽化とともに、ユニバーサルデザイン、IT化等への対応ができていません。



<危機管理面>

- ① 現庁舎の敷地は、有馬・高槻断層の地震による想定震度分布図で「震度7」、木津川浸水想定区域図で「5m以上の浸水」が想定されます。
- ② 現庁舎は、旧耐震基準による設計施工であるため、耐震性に問題があるほか、水害発生リスクなどにより、災害発生時には指揮本部機能が確保できなくなる恐れがあります。



2 建替移転の必要性と意義

- ① 現庁舎の課題に対応し、一層効率的かつ安心安全な事務執行を期します。
- ② リサイクル工房機能の一部を折居エリアに移転させ、利便性の向上を図るとともに、広報・啓発機能の一体化を図り、環境啓発拠点としての積極的な情報発信、活動を展開します。
- ③ 構成市町施策との連携強化や新たな住民・大学との連携、協働関係の構築を図り、地域のさらなる循環型社会の構築に向けた活動を進めます。

3 基本理念・基本方針



4 整備方針 基本理念・基本方針の実現に向けて

窓口機能

来庁者に分かりやすく、親しみやすい受付窓口の設置やユニバーサルデザインの採用等により利便性の向上を図ります。

(具体例) ロビーのような開放感のあるスペースの確保、ユニバーサルデザインの採用

行政機能

的確で効率的な行政運営を行う上で必要な機能を、適正な規模で確保します。

(具体例) 組織改編や配置換えに柔軟に対応できるオープンな執務空間、会議室をバランスよく配置、書庫等の収納空間を集約

広報・工房機能

工房事業を通じて、構成市町との更なる連携を深めるとともに、広報・啓発をより積極的に進めるために、工房利便機能の充実を図ります。

(具体例) 住民交流・情報提供の場、多目的スペース・工房の充実、リピーターを増やすためのリユースショップの運営の工夫

議会機能

議会施設は新庁舎と一体的に機能することを目指します

(具体例) 議場と大会議室の併用、傍聴機能の充実、控室(会議室兼用)の設置、議会機能を紹介するPRコーナーの設置

防災拠点機能

耐震性の確保、浸水対策やライフラインの強化等、災害に強く、工場を支えるバックアップ機能を確保できる施設とします。

(具体例) 耐震性を十分確保した構造設計

5 新庁舎の建設位置

◎新庁舎の建設位置は、財政支出軽減のため当組合所有地内とし、各候補地の現状や特性を比較検討しました。

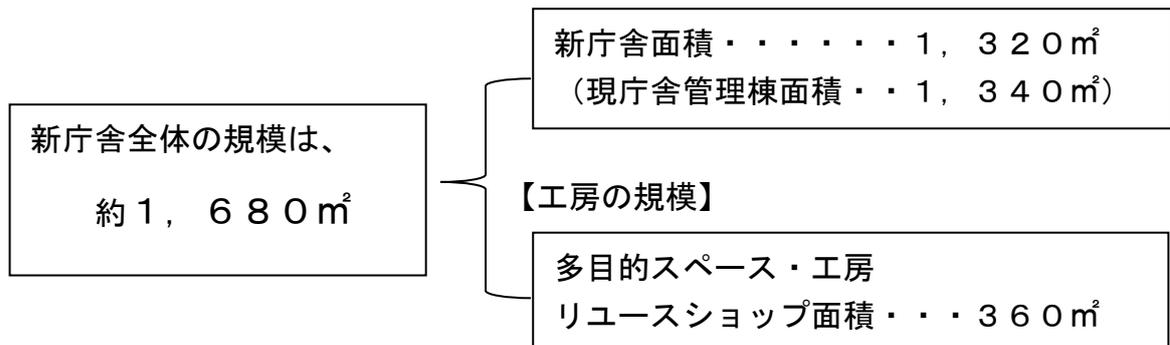
候補地A：沢エリア 候補地B：長谷山エリア 候補地C：折居エリア

◎その結果、組合各施設の配置状況や敷地スペース、災害リスクの大小、広報・啓発機能の推進等、基本理念・基本方針が実現できる場所として、建設位置は管内区域の中心で住民の利便性の高い『折居エリア』としました。

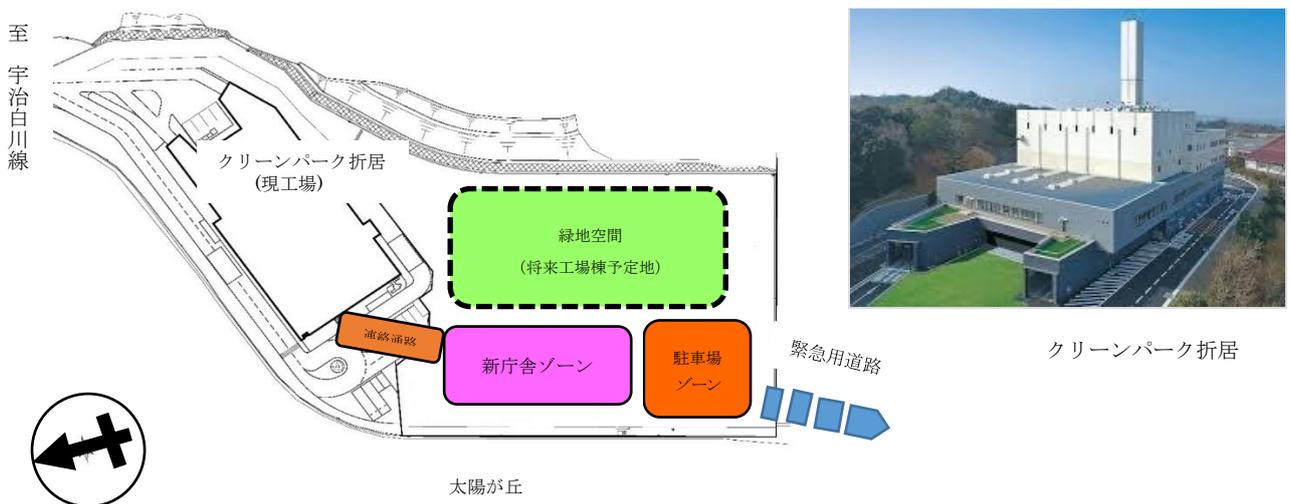
6 新庁舎の施設規模

◎住民サービスや業務効率の向上を図るとともに、華美とならず必要最小限の規模を念頭にコンパクト化を目指します。

【新庁舎の規模】総務省起債許可標準面積算定基準により現職員数と同等の40人規模で算出

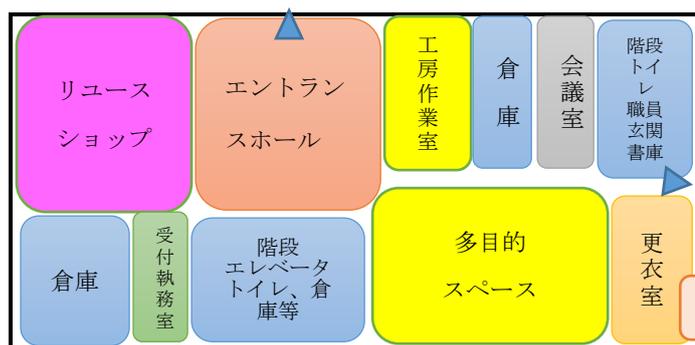


7 配置計画と施設計画

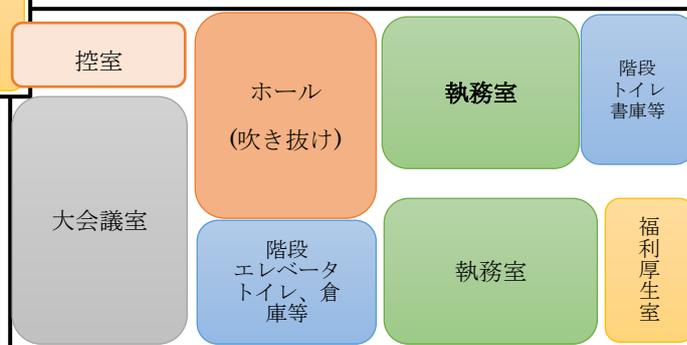


- ◇ 新庁舎の配置は、クリーンパーク折居敷地の京都府山城総合運動公園と接する西側付近とします。
- ◇ クリーンパーク折居(清掃工場)と連絡通路(渡り廊下等)で接続します。
- ◇ 東側の元清掃工場跡地は、緑地空間とし各種イベント等に活用します。
- ◇ 南側には、運動公園との間に一般来場者用連絡通路兼緊急用道路を検討します。
- ◇ 新庁舎の構造種別は鉄筋コンクリート造2階建を基本として、実施設計の段階で決定します。

1 階平面ゾーニング



2 階平面ゾーニング



8 事業手法

- ① 事業方式 財源や事業スケジュールを考慮し、当組合が建物の発注者となる直営(公共発注)方式で整備することとします。
- ② 事業手法の選定 設計後に工事内容が確定した段階で予定価格を算出することから、工事費の妥当性が確保でき、多くの地元事業者が関わる事が可能なこと等を総合的に判断し、設計(委託)・施工(請負)を分離発注する従来方式とします。
- ③ 設計者の選定 競争入札方式に比べて選定に時間を要しますが、設計段階においても発注者の要望が取り入れられやすく、技術力・デザイン力を評価して選定できるプロポーザル方式が最適と思われます。

9 概算事業費と財源

項目	事業費
建設工事費	6.7 億円
設計費・工事監理費 外構工事費 など	0.4 億円
合計	7.1 億円

区分	財源内訳	備考
起債	4.8 億円	
一般財源	2.3 億円	構成市町からの 分担金
合計	7.1 億円	

※概算事業費は現時点での試算であり、今後、物価や人件費等の上昇も含め、諸条件により変動が生じる場合があります。また、備品購入、引越し等の費用を含んでいません。

◎これまで必要な各施設の整備更新を計画的に実施してきましたが、今後も市町分担金総額の抑制、軽減に努めるとともに、年度間の平準化を図っていくこととします。

10 事業スケジュール

◎基本計画策定から庁舎完成まで、概ね6箇年を想定していますが、他の事業との関係で更に時間を要することも考えられます。

項目	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
基本計画策定	→						供 用 開 始
調査・測量業務		→					
関係機関協議 実施設計			→				
建設工事					→		

城南衛生管理組合・新庁舎建設基本計画【概要版】

(発行) 事業部 総務課

〒614-8511 八幡市八幡沢1番地

TEL. 075-631-0772 FAX. 075-631-7296

Eメール: info@jyonaneikan.jp